





2910



詩哥合

建保年中

一番 山中卷夕

右

右中辨藤原乾時朝臣

好身林深凌雪宿

歸樵路滑負春行

右

播磨守藤原範基朝臣

二番 山はみづのたよりつづくとる

右

持下

桃溪浪洗斜陽影

梅嶺風芳欲夜聲

右

小字...
藤原...

昔即山考なむいりるまよひのいりるいりる
三番

左 勝

權右中弁平經高勅臣

煙霞本遠暮雲拭

桃李溪深春日垂

右

勅解由次官平宗直

ちつとんてれ本すまよひるあま雨らしりる
四番

左 持中

松栢嵐晴青寂寞

峯密花満自冬差

右

五番

左 勝

式部權大輔為長朝自

一日接春歸帶月

雙雲為馬光眼花

右

權大納言良平親

六番

左

煙霞洞裏猿人宿

錦繡谷西居士處

右 勝

七番 雲が霞に似しと知はらうりゆね松は山の雨雲と云ふ

左 持上 大宰権師資貫

山郭嵐煙多下柳 溪門桃李少從松

右 侍從定家

三ふれと一色白たかほきたうたまのたのた

八番

左 持上

嶺霞台出八十丈 花雨草山十二重

右

楊柳の葉は去るのまきよふぬいよやふかきとんは成

九番

左 持中 参議乾朝卿

拳斂共歸樵客路 旣粧欲宿隱松家

右

子し野の花は春とふたをたれも出たかあたるは山

十番

左

晴風拂嵐零春露 斜日映林暎晚霞

右

かほまきるる万に揚春宮にせしめしるは

十一番

左 持下

從三位頼範卿

嶺梅遠近隨嵐

野杏淡深更獨分

右

從三位家衡卿

昔のうらけはけりく海をむかひのり

十二番

左 持中

鳥島歸林期曉月

鳥を借宿入春雲

右

子よりのやいませきよくふくむるは

十三番

左 持

霞中間雪訪松

塵外愛し性石稜

右

持

六のしるるのちのしるはむかひのちのち

十四番

左 持

溪竹夕雲藏霞宿

嶺林春月出花界

右

山崎の筆は本のみとあり其たはあつた
十九番

左 持中 左 少辨藤原家直

雲外歸溪馮柳宛 日光衛巖出巻七遅

右

と何のまじりて楊柳の交ひも多きなりぬる

十六番

左 持中

春山露白寫高嶺 青峰霞紅松獨遺

右

かへはせぬはらのぬれはつらぬもよもひの

十七番

左 追討監藤原教實

唯運春山麓卜宿 從軍西日欲何之

右

左 衛門権少尉藤原康光

白ひら月のみをふしはけはけはのたのけ

十八番

左

糶支哥返孫巻七夕 巫女夢夢方行雨晴

右

る伊のふみとてそとをいふはたの
十九番

た 姑 中宮大史進藤原兼隆

甚溪霞暖雲垂出 松洞月暝露眩閑

右

辛子まゝいふの言は神のふりかへにふあひの

二十番

た 姑

五月相期白緑水 鳥衣一夜宿春山

右

芳野山花のつゝ宛とかりそふりて入あひの流

大一番

た 持下

雪飛雄各斬歸地 月伴隨倫獨往春

右

言砂の及上たふりて風たふりて松のやうに入あひ

女二番

た

雲宿洞中鍾隔懸 風來溪北僅傳句

右 指

うたはえたと風はさるるの夕陽はかきやまひ

大一番

左勝

右衛門権少尉藤原家光

蘿月東風舞舞

松嵐北送一溪巻

右

大兵衛少尉藤原維長

よしのやうゆしやしき風はつるたのゆか

大四番

左

春望錦繡谷間露

夕採蓬萊洞裏霞

右勝

たるれやあふふいふたをれやあふふつとらぬ

大五番

左持下

勘解由次官平棟基

雨来柳色

倉裏

霞庭桃顔醉和春

右

丹後守藤原範宗

いふもよふれいけいさやふふふらぬ

大六番

左

文更遠望新月影

樵衣惟被暖風原

右勝

去月日也... 一番 野介秋望

左持 兼朝卿

松蓋雨時應宿客 蕭瑟風處似松人

右 女房

神... 樹

二番

九 持上

山西霧薄斜陽透 林下鹿鳴落葉頻

右

後集... 從

三番

九 持上 資實卿

車擊林梢飛鳥少 馬嘶原上穉徒多

右

... 人の

四番

九 持上

殷夢夜靜耳霖雨 斬栗秋深落葉波

右

羽のしらけ
五番
鳥家郷

左

鳥家郷

白鷺雙飛
右勝

右勝

紅梅半出暮山雲

良平郷

六番
むぎやうの
一

右勝

風生村柳多黃落

月透野松帶翠氣

右

あたら原のゆき
八番
あつたのゆき
あつたのゆき

右勝

低雲連野遠鳴城

夾蕪與林暗鹿驚

右

宮城野の小萩
下
宮城野の小萩

十番

左
持上

月浮水面寒衣白

霧新山腰遠馬他

右

原上のひらきつゝ冬も芳らう 秋風はるく 常麻
のいさ

十一番 大 持中 乾時朝臣

寒野展 殘空霧見 暮山層陳 与雲斜

右 兼基朝臣

あゝやはるのやけし 山花はるきも けし けし

十二番 大 持下 一

右 大 持下

梧桐雨深 群相色 蕨蔭露 芳百草老

右

野原より秋のあそび けし けし けし けし

十三番

大 持下 家宣

嵐陽捲 烈林園光 野色青黄 錦繡秋

右 女房

かきつばたのめいれ けし けし けし けし

十四番

左 持

雲樹影 斜村北路 月老登 遠郡西樓

右

よりまゝにふくむるはまのりきよふゆふゆふ
十九番

大

經高朝臣

林霧初興夾樹僻

右

夜雪初盡野田閑

或風野々ふりゆきふりゆきふりゆきふりゆき

十六番

大 権

紫南霞映東月

紅葉嵐高西繞山

右

かのちんせりぬききりゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
十七番

大

持上

兼隆

蘭蕙飄風千畝

木葉秋紅霜一村

右

鳥家

夕舟ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
十八番

大

持下

林亭親朋琴倚石

野

素意酒盈樽

右

かきすんの原のふきふきにんふかぬかぬ
十九夜

た 知長

嵐来帝捲三間寺 霧霽初看万頃田

右勝

有明のくまゆきをぬかぬかぬ

廿番

た

遠樹梢紅冬已逝 寒雲山霽月孤懸

右

ひるあけあふかきとていれくもの草子秋風

廿一番

た 持下 藤家光

遠樹半晴虹影淡 平蕪雨過鹿蹄荒

右 原維長

あふらぬきとていれくもの草子秋風

廿二番

た 持下

郡端曉霞畫園悻 原上秋風舊草揚

右

身を長しむ千まよしつゝあふりりもるゝのぼり
大ニ番

丸持下 藤康光

秋雲歸洞寒阜靜 白霧隔隄遠木深

右 藤教實

風や人の野をなれはれもきて平海のにけり
大ニ番

大ニ番

丸持下

野外徑幽霜後草 村南地僻夕陽林

右

あふれはれはるる秋風あふれはるる中男鹿

大ニ番

丸 棟基

三危霞結添出忽 一片嵐過和鹿声

右 勝 範守朝臣

少男兼れよめすむの花の上はれ及のぼり

大ニ番

丸

歸壑雲飛雲靜也 豎園更卧月明程

右 勝

五

二

又附夜月事の同様の家内書
の五

中
三
三

